

市長が行く

No.16

茂原市長 田中 豊彦

「市長と話し合つ会」を終えて

今年も5会場において、多くの市民のみなさまと直接に意見交換をしました。昨年よりは参加者は少ないようだと思いましたが、それぞれに今の市政に関して感じていることを率直にお話していただけたと感じています。今回はその中で印象に残ったものをいくつかご紹介したいと思います。

まず、第一はIPSアルファテクノロジについての質問です。茂原市とどう関わっているのか？また茂原市から撤退するのではないか？等々です。茂原市は、企業誘致条例を改正し、15年で40億の助成をすることを約束しています。これはIPSの固定資産税をもとに計算をし、その額の範囲内での助成です。また、IPSが茂原からいなくななるということはあります。IPsは日立、東芝、松下の投資によって設立された会社で、西にシャープの亀山工場がありますが、東には液晶の工場がないため、国の施策として経済産業省の肝いりで、茂原に決まつた経緯があります。今後この3社のなかかあります。主導権がどう移っていくかは分かりませんが、それによくある茂原からの撤退はないものと考えます。

次に学校給食公社についての質問が多く出ました。この件については、先の広報に書いたように食材や栄養面など、健全なる教育という

ことに関しては全く問題ないと考えます。ただ調理するところだけを業者に委託するということです。それによつて、大幅に経費の節減が可能となります。茂原市の中では、聖域なき改革の一歩としています。今回、公社がプロポーザルから外れたことは残念ですが、今後、公社から職員の再就職等の要望であれば、配慮していく所存です。

また、ごみの問題も多く取り上げられました。自治会の中の人ではなく、よそからごみを持ち込む人がいる、車から投げ捨てていく、捨てる日にしてしまうことがあります。これはモラルの問題です。市民の一人ひとりの心がけでいいきたいと思いません。今後市としても対策を考える必要があります。少しでも住みよい茂原市にしていく必要があります。ごみ袋の値段については、もうしばらく我慢をお願いしたいのですが、ほかにもたくさん貴重なご意見をいただきました。私としては大参考になりました。うれしかつたことは、会合に来てくださつた方々から、「何か手伝うことがあつたら言つてほしい」と言つてくれました。茂原を良くしようという思いが感じられたことです。

本当に大きな励みになりました。

